学校番号	1011

令和８年度　地理歴史

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	明解　歴史総合　（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目です。

歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる本質的で大きな問いを設け、諸資料を適切に活用しながら、比較や因果関係を追究 するなど社会的事象の歴史的な見方・考え方を用いて考察する歴史の学び方を身に付けることをめざします。

授業においては、教科書・資料集のほかクロームブックを活用し、自分の力で調べ、考え、表現する力を養います。

2　学習の到達目標

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし、必履修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1部 歴史の扉	1章　歴史と私たち 2章　歴史の特質と資料	a:絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の 重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な 読み解き方について理解する。 b:身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを 理解し、考察し、表現する。 c: 問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 定着テスト	定期考査	提出プリント ワークシート

1	2部 近代化と私たち	1章 江戸時代の日本と結びつく世界 2章 欧米諸国における近代化	a:18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化、アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 定着テスト	定期考査	提出プリント ワークシート
2		3章 近代化の進展と国民国家形成 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 5章 近代化が進む日本と東アジア	a: イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問い対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命、欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 定着テスト	定期考査	提出プリント ワークシート

			a: 欧米諸国と日本の国民国家の形成、日本のアジア外交や自由民権運動、帝国主義と世界の一体化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 欧米諸国と日本の国民国家の形成、日本のアジア外交や自由民権運動、帝国主義と世界の一体化に関する問い対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 欧米諸国と日本の国民国家の形成、日本のアジア外交や自由民権運動、帝国主義と世界の一体化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。			

	3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	1章　第一次世界大戦と日本の対応 2章　国際協調と大衆社会の広がり	a: 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問い対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響、戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 定着テスト	定期考査	提出プリント ワークシート

		3章　日本の行方と第二次世界大戦 4章　再出発する世界と日本	a: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問い対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア、ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 定着テスト	定期考査	提出プリント ワークシート

3	4部　グローバル化への問い	1章　冷戦で揺れる世界と日本 2章　多極化する世界	a: 第二次世界大戦後の植民地独立、米ソ両陣営の動揺や日本の55年体制の確立、アジアとの外交に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 第二次世界大戦後の植民地独立、米ソ両陣営の動揺や日本の55年体制の確立、アジアとの外交に関する問い対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 第二次世界大戦後の植民地独立、米ソ両陣営の動揺や日本の55年体制の確立、アジアとの外交に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 定着テスト	定期考査	提出プリント ワークシート

		3章　グローバル化の中の世界と日本	a: 冷戦後の世界情勢、9.11 以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 冷戦後の世界情勢、9.11 以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する問い対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 冷戦後の世界情勢、9.11 以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度